

第1回校内研修

R8. 4. 6

1 学校経営との関わりについて

令和8年度の重点 みんながつくる『笑顔』集う学校

学校として育成を目指す資質・能力

| 資質・能力 | 仲よくする子【徳】 | よく考える子【知】 | きたえる子【体】 |
|----------------------------|--|--|--|
| 知識および技能 わかる・できる | 【基本的な生活習慣】 自分の生活を振り返り、ルールやマナーを身に付けることができる。 | 【基礎的学力】 学習や生活の中で生かす学習内容を身に付けることができる。 | 今年度の研修で主に関わる部分（授業づくり） |
| 思考力・判断力・表現力等 考える・伝える | 【人間関係形成力】 相手の思いや立場を考え、他者と適切に関わることができる。 | 【問題発見・解決力】 問題や課題を見だし、解決方法を計画し、結果を予測しながら追及することができる。 | |
| 学びに向かう力・人間性等 挑戦する・やり続ける | 【自己肯定感・自己有用感】 社会性を高めながらよりよく学校生活を送ろうとしている。 | 【主体性】 自ら問題・課題を見だし学習に粘り強く向かおうとしている。 | 【挑戦】 望ましい生活及び運動習慣を日常化しようとしている。 |

授業を支える部分（学級経営）

研修部の目指す『笑顔』とは？



「できた」「分かった」
解決したことによる笑顔
(達成感・充実感)

子どもたちと一緒に「授業が楽しい」と思う笑顔

子どもの「できた」「分かった」を導き出せた笑顔

仲間と共に課題を解決していくことによる笑顔

友達同士の関わりの中で、互いに学びあう楽しさを感じることによる笑顔

子どもの成長・変容を感じることによる笑顔

授業を核にして、

みんながつくる『笑顔』集う学校をつくるための研修

2 これまでの研修の流れ

研究主題 **主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくり**

目指す子ども像

(主) **自身の学びをコントロールすることができる児童**
 三小「主体的な学び」キーワード～意欲・見通し・振り返り・評価・学びの変容と自覚

(対) **対話をもとに思考を深めることができる児童**
 三小「対話的な学び」キーワード～児童と対人・児童と先哲

(深) **自身が得た知識・経験をつなげることができる児童**
 三小「深い学び」キーワード～「見方・考え方」を働かせる つながる つなげる

【1年次】～伏線と複線～

- ・ 伏線～既習事項、児童の生活経験、知識、複線のための手立て
- ・ 複線～児童が自ら主体的に学習を進めていく授業スタイル
- ・ 反省～児童の思考の流れを大切にされた単元構成について確認。

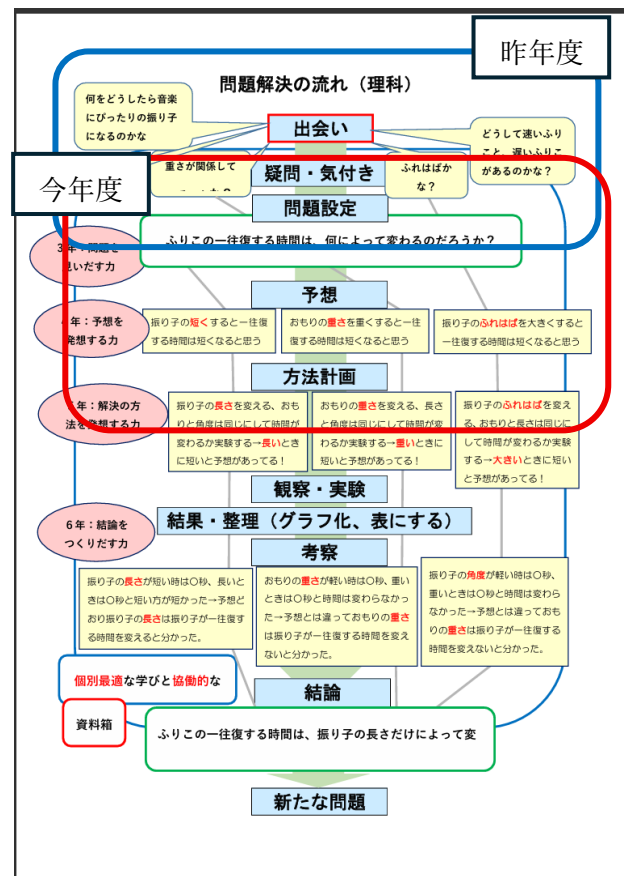
伏線、複線とも主体的が前提。

複線の充実のために、日常の種まき、課題の設定（問い）の工夫が重要。

【2年次】～子どもが自ら課題意識をもって 取り組む授業づくり～

- ・ 意欲的に問題解決に向かう手立て（子どもに「単元を通した問題」や「～したい」をもたせる工夫）
新しい単元や題材との出会いを仕組む
- ・ 子どもの「単元を通した問題」の解決や「～したい」を実現できる単元の工夫
個別最適な学びのために有効かつ普段の授業に活用可能な実践
- ・ 反省～用語（問い、学習問題、課題など）について共通認識をはかる必要がある。
次は、「学習の見通し（予想・方法計画）」の部分に焦点をあてる必要がある。

予定だと、今年度は、いよいよ3年次、集大成の1年！！



3 今年度の研修について

【はじめに】

「学習の見通し」に焦点をあてた校内研修

○公開授業
研修テーマに沿った
チームでの授業づくり
授業3本（低・高・支援）

○ウキウキウォッチング
できれば研修テーマに沿った授業
1人1本できたらいいね
指導案は略案

○ミニ研修
学級経営についての交流会
3回予定
コンプライアンス研修

○実技研修
救命救急（消防からレクチャー）
リクエスト研修（アンケート実施予定）

【今年度の研修】

研究主題 主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくり

副題 子ども自ら見通しをもって取り組む授業づくり

○学びのプロセス

学習課題の設定
昨年度研修
出会いを通して、「なぜだろう」「やってみたい」「何をするのか
な?」「どうしてするのかな?」という問いをもつ。

見通しの設定
今年度研修
「こうすればできるんじゃないかな?」「この方法が使えるようだ」
「この順番でやってみよう」という解決までの見通しをもつ。

活動
・情報収集
・整理分析
・説明
・まとめ
個人思考「予想通りできそうだ」
集団思考「友達はどうやったかな」「そんな方法もあるのか」
まとめ
見通しをもとに個人または集団で問いに対する解決のために学習
する。

振り返り
「～に気付いた」「分かった」「法則を見つけた」「次はどうしたいか」
を自覚する。定着・メタ認知

このサイクルを継続して取り組むことで、児童に自己調整力の力がつくのでは?

今年度は、「見通し」に力を入れていく1年に！！

1 単元を通しての

授業の見通し

2 1時間中での

授業の見通し

授業の見通し 大まかな流れ

- ① 学習課題（ゴール）の確認
 - ・「何をするのか？」
 - ・「どうしてするのか？」
- ② 既習事項から解決のための方法を考える
 - ・「こうすればできるんじゃないかな？」
 - ・「この方法が使えるかな？」
- ③ 答えの見通しをもたせる
 - ・「こうなりそうだ」
 - ・「だいたいこのぐらいになるかな？」
- ④ 課題について調べる視点をもたせる。
 - ・「このあたりから調べれば分かりそうだ。」
- ⑤ 課題解決に向けた、学習活動の道筋の見通しをもたせる。
 - ・「初めに、次に、最後に～、解決しそうだ」
- ⑥ 学習・活動
- ⑦ 学習・活動を振り返る

出会い（導入）をどうするか。
主体的な学習には、この部分がとくに大切！！

実は振り返りが大事！
研修で重点的には取り組みませんが、意識したいところです。
今年度は3年計画の3年目ですが、次年度4年目として「振り返り」を重点的に行うのか、今後検討したいと思います。

校内研修では、「授業の見通し」に力を入れていきますが、日常生活でも「見通し」を意識していけたらいいと思っています。

【研修の予定】

| 回 | 2025 年度実績 | | 2026 年度予定 | | 指導案提出 〆切り |
|---|-----------|------------------------------|--------------|-----------------------|--------------|
| | 研修日 | 研修内容 | 研修日 | 研修内容 | |
| ① | 4・4 | 今年度の研修の見通し | 4・6 (月) | 今年度の研修の見通し | |
| ② | 4・25 | 今年度の「総合的な学習の時間」の単元づくりについての説明 | 4・24 (金) | 今年度の具体的な研修内容 ミニ研修① | 授業者 決定 |
| ③ | 5・16 | 緊急時対応研修 チーム研修 | 5・15 (金) | 緊急時対応研修 チーム研修 | |
| ④ | 6・6 | 研修部提案授業指導案検討 | 6・5 (金) | 研修部提案授業指導案検討 | |
| ⑤ | 7・11 | 研修部提案授業の研究協議 | 7・10 (金) | 研修部提案授業の研究協議 | |
| ⑥ | 8・25 | リクエスト研修 第1回学び合う会 | 8・24 (金) | リクエスト研修 ミニ研修② | |
| ⑦ | 10・24 | 授業① 研究協議 第2回学び合う会 | 10・23 (金) | 授業①の研究協議 ミニ研修③ | |
| ⑧ | 11・7 | 授業② 研究協議 授業③ 指導案検討 | 11・6 (金) | 授業②の研究協議 授業③の指導案検討 | |
| ⑨ | 11・28 | 授業③ 研究協議 (指導主事訪問) | 11・27 (金) | 授業③(指導主事訪問)5校時 | |
| ⑩ | 1・16 | 研修のまとめ | 1・15 (金) | 研修のまとめ | |
| ⑪ | 2・20 | 次年度に向けて | 2・19 (金) | 次年度に向けて | |

3 その他

- 今年度の緊急時対応研修は、消防署による救命救急。現在連絡して、調整中。
- 2回目の研修は、
具体的な「授業の見通し」の話
授業者チーム決定
ミニ研修①「学級開きについて～あのルール、このルールどうしてる?～」の予定です。